

白浜町 (和歌山県) 近郊に漂着・混入・迷入した ウミガメ類

田名瀬 英 朋

Records of the stranding sea turtles on the coast
of Shirahama (Wakayama Prefecture) and its adjacent waters

HIDETOMO TANASE

紀伊半島沿岸海域におけるウミガメ類の来遊は、産卵による上陸以外に、死亡個体の漂着、刺網など漁業活動への混入、湾奥内への迷入などによって、アカウミガメ *Caretta caretta* (Linnaeus), ヒメウミガメ *Lepidochelys olivacea* (Eschscholtz), アオウミガメ *Chelonia mydas* (Linnaeus), タイマイ *Eretmochelys imbricata* (Linnaeus), オサガメ *Dermochelys coriacea* (Vandelli) の5種が確認されている(日本自然保護協会, 1979; 柴田, 1989)。このうち産卵上陸するのはアカウミガメのみであり、その上陸状況、産卵個体数、卵の保護、標識装着などの調査・保護活動が実施されている(和歌山県ウミガメ情報交換会, 1989)。しかし、その他の種を含めたウミガメ類の漂着・混入・迷入については、新潟県沿岸部で詳しい調査があるものの(本間・中村・青柳, 1987)、その他の地域では、漂着の一例報告か、地方新聞の話題になる程度で処分されている。唯一オサガメのみが全国的に漂着・捕獲の記録がまとめられ、来遊経路が推定されているにすぎない(Nishimura, 1964; 西村, 1964)。鯨類については、日本捕鯨協会の鯨類研究所が1986年から研究上必要な情報(ストランディング・レコード)として、記録を収集・公表しているが(石川, 1994; 加藤, 1986; 吉岡・銭谷, 1989)、ウミガメ類についてもオサガメのみに限らずウミガメ類の全種について、このような情報の集

積は必要である。

以上のような状況から、ここでは白浜町近郊へのウミガメ類の来遊について、筆者自身による海浜域の徒歩調査、漁業関係者・地域住民の方々による情報、および新聞報道も含めた各種文献に基づき、1968年から1997年の29年間にかけて得られた3種60個体についての記録をとりまとめた(表1)。なお、新聞報道のみで、実物を確認できなかった個体については、掲載写真と記事内容から種名を判断し、※印を付した。

この29年間の調査で、白浜近郊からアカウミガメ29個体(甲長41~110 cm)、アオウミガメ22個体(甲長37~98 cm)、タイマイ9個体(甲長26~43.8 cm)の漂着・混入・迷入を確認した。いずれの種も、死亡していることが多かった(アカウミガメ89.7%, アオウミガメ81.8%, タイマイ55.6%)。そのうち外傷が認められたものはアカウミガメ2個体(1986年6月8日, 1997年1月24日漂着)で、両個体とも船舶のスクリューによる切傷と思われる。その他の個体はほとんど外傷を認めなかった。死亡漂着個体の中には漁業活動への混入、特に9月中旬から翌年の4月末にかけて実施される刺網への絡まりにより窒息死亡した個体で、漁場で投棄されたものが海岸への漂着記録として混入している可能性がある。いずれの個体も解剖をおこなっていないため、異物誤飲や老衰など、死亡原因を

表1 白浜町（和歌山県）近郊に漂着・混入・迷入したウミガメ類

(1) アカウミガメ (29 個体)

漂着などの 年月日	甲長 (cm)	入手・ 捕獲法	標識の 有無	漂着または捕獲場所	生 死	参考文献・情報
1979.06.25	82.0	漂着	なし	番所崎 (白浜町)	死	
06.26	70	〃	〃	目良 (田辺市)	〃	※紀伊民報 (1979.06.28)
08.20	不明	〃	〃	島島 (白浜町)	〃	
11.28	100	〃	不明	椿 (〃)	〃	※紀伊民報 (1979.11.28)
1980.12.10	92.0	〃	なし	臨海北浜 (〃)	〃	
1981.07.02	不明	〃	〃	千里の浜 (南部町)	〃	※上村 1981
1983.06.25	82.0	〃	〃	番所崎 (白浜町)	〃	
1984.07.02	81.0	〃	〃	〃 (〃)	〃	
1985.12.23	90	〃	不明	元島 (田辺市)	〃	※紀伊民報 (1986.12.23)
12.26	80	〃	なし	天神崎 (〃)	〃	※ 〃 (1986.12.27)
12.26	80	〃	〃	埴田 (南部町)	〃	※ 〃 (1986.12.27)
1986.06.08	不明	〃	〃	田尻 (白浜町)	〃	背甲部に切傷
11.13	76.2	〃	〃	臨海北浜 (〃)	〃	
1988.01.25	100	〃	不明	跡の浦 (田辺市)	〃	※紀州新報 (1988.01.25)
10.28	41	刺網	あり	目良 (〃)	生	※紀伊民報 (1988.10.29)
11.07	48.4	迷入	A-1332	内ノ浦 (〃)	〃	11 月 16 日再放流
12.15	110	漂着	不明	扇ヶ浜 (〃)	死	※紀伊民報 (1988.12.17)
1989.02.03	82.5	〃	なし	島島 (白浜町)	〃	〃 (1989.02.05)
08.30	130	〃	956	天神崎 (田辺市)	〃	※ 〃 (1989.08.31)
10.28	80	迷入	あり	椿 (白浜町)	生	※紀州新報 (1989.10.28)
1991.05.30	100	漂着	不明	江津良 (〃)	死	※紀伊民報 (1991.05.31)
1992.05.25	不明	〃	MINABE50	南部浜 (南部町)	〃	※ウミガメ研究班 1992
1993.03.30	75.0	〃	2460	臨海北浜 (白浜町)	〃	
04.03	58.4	〃	なし	臨海南浜 (〃)	〃	
1994.03.18	78.8	〃	〃	天神崎 (田辺市)	〃	紀伊民報 (1994.03.20)
1995.03.03	82.4	〃	JPN8739	番所崎 (白浜町)	〃	
1996.04.09	67.8	〃	なし	〃 (〃)	〃	
05.08	71.2	〃	〃	臨海崎の浜 (〃)	〃	
1997.01.24	69.5	〃	〃	臨海北浜 (〃)	〃	背甲部に切傷

特定できなかった。また、タイマイの記録については、鼈甲細工・剝製など装飾的価値があるため（中古賀，1994；亀崎，1994），私蔵されるなどして，記録に残されていない個体がある可能性がある。

標識が確認されたのは比較的大規模に標識調査が行われているアカウミガメ 5 個体およびアオウミガメ 1 個体で，MINABE50（アカウミガメ）とアオウミガメ（筆者未観察）以

外はそれぞれの実施機関に連絡した。このうち A1332（アカウミガメ）1 個体は実施機関である姫路市立水族館と協議し，個体の測定後に再放流した。アオウミガメ・タイマイの両種も沖縄・小笠原において標識放流が実施されているが（宮脇・岩本，1991；小笠原海洋センター・小笠原水産センター，1992），標識を付けて漂着したアオウミガメ 1 個体（1989 年 8 月漂着）は，1983 年 7 月小笠原村父島に

(2) アオウミガメ (22 個体)

漂着などの年月日	甲長 (cm)	入手・捕獲法	標識の有無	漂着または捕獲場所	生死	参考文献・情報
1979.11.18	42.3	刺網	なし	円月島 (白浜町)	死	紀伊民報(1985.01.16)
1982.06.04	40.5	定置	〃	〃 (〃)	〃	
1983.10.04	37.0	刺網	〃	沖ノ島 (田辺市)	〃	
11.11	49.6	巻網	〃	塔島沖 (白浜町)	生	
12.10	48.5	漂着	〃	瀬戸 (〃)	死	
1984.02.19	62.0	〃	〃	臨海北浜 (〃)	〃	
11.17	43.5	刺網	〃	鴨居 (〃)	〃	
1985.01.15	70.5	漂着	〃	湯崎 (〃)	〃	
06.18	41.0	釣り	〃	志原 (日置川町)	生	
07.28	不明	〃	〃	見草 (白浜町)	〃	
1986.09.24	41.6	延縄	〃	安宅崎 (日置川町)	〃	
1987.10.02	39.4	刺網	〃	新庄 (田辺市)	死	
1989.08.	98.0	漂着	あり	天神崎 (〃)	〃	
1990.03.28	89.0	〃	なし	臨海北浜 (白浜町)	〃	
03.28	52.0	〃	〃	四双島 (〃)	〃	
1993.01.30	68.8	〃	〃	番所崎 (〃)	〃	
1995.01.02	52.6	〃	〃	臨海北浜 (〃)	〃	
02.15	59.2	〃	〃	新庄 (田辺市)	〃	
1996.12.04	72.9	〃	〃	目津 (南部町)	〃	
〃	49.9	〃	〃	二子の浜 (〃)	〃	
1997.01.18	43.6	刺網	〃	富田 (白浜町)	〃	
12.21	48.4	漂着	〃	田尻 (〃)	〃	

(3) タイマイ (9 個体)

1968.11.21	43.5	刺網	なし	塔島 (白浜町)	生	紀伊民報 (1985.12.29) ※ 〃 (1985.12.29)
1976.01.24	35.0	潜水	〃	円月島 (〃)	〃	
1984.04.26	36.5	刺網	〃	千疊 (〃)	〃	
10.23	38.8	〃	〃	鴨居 (〃)	死	
10.27	43.8	〃	〃	円月島 (〃)	〃	
1985.12.26	45.0	〃	〃	市江 (日置川町)	生	
12.27	26	漂着	〃	天神崎 (田辺市)	死	
1986.10.03	45.8	刺網	〃	権現崎 (白浜町)	〃	
1995.11.01	25.6	漂着	〃	臨海北浜 (〃)	〃	

※筆者未観察個体

産卵のために上陸したものである (玉井, 1991)。

今回の調査結果からウミガメ類の来遊について、明確な結論を得ることは困難であるが、これを基礎としながら今後も記録の収集を続行する。しかし、このような記録の収集は個

人の努力では限界があり、多くの人々の協力が今後とも不可欠である。漂着情報・個体の測定などについて協力いただいた故山本虎夫、内田保、平田歳己、池田久和、出井六平、丸谷寛治、森山惣一、檜山嘉郎、太田満、山本善万、津越健一、山本泰司、興田喜久男、

浅井理人, 伊谷行の諸氏に感謝の意を表す。

引用文献

- 本間義治・中村幸弘・青柳彰. 1987. 新潟県沿岸に漂着した稚アカウミガメの記録とその後の新潟県沿岸における海産爬虫類の採捕記録追加. 両生爬虫類研究会誌, 35: 1-8.
- 石川創. 1994. 日本沿岸のストランディングレコード(1901~1993). 鯨研叢書, 6: 94 pp.
- 亀崎直樹. 1994. 剥製. in 紀伊半島ウミガメ情報交換会ほか編, ウミガメは減っているか: 25. 紀伊半島ウミガメ情報交換会, 田辺市.
- 加藤秀弘. 1986. ストランディング・レコード 1. 鯨研通信, 364: 50.
- 宮脇逸朗・岩本俊孝. 1991. 第2回ウミガメ会議の報告・ラウンドテーブル(標識放流について. うみがめニュースレター, 11: 19-22.
- 中賀文樹. 1994. 亀甲細工. in 紀伊半島ウミガメ情報交換会ほか編, ウミガメは減っているか: 24. 紀伊半島ウミガメ情報交換会, 田辺市.
- 日本自然保護協会. 1979. 第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(両生類・は虫類), 和歌山県: 37 pp.
- Nishimura, S. 1964. Considerations on the migration of the leatherback turtle, *Dermochelys coriacea* (L.), in the Japanese and adjacent waters. Publ. Seto Mar. Biol. Lab., 12 (2): 177-189.
- 西村三郎. 1964. 日本近海におけるオサガメの記録. 生理生態, 12 (1/2): 286-290.
- 小笠原海洋センター・小笠原水産センター. 1992. 1991年度に小笠原から標識放流されたウミガメ類. うみがめニュースレター, 13: 8-11.
- 柴田保彦. 1989. 日本産両生爬虫類総目録. in 金沢至編, 第16回特別展 日本のヘビとカエル大集合(解説書): 70-76. 大阪市立自然史博物館, 大阪市.
- 玉井済夫. 1991. 爬虫類. in 田辺市史編さん委員会編, 田辺市史, 10: 140-146.
- 上村修. 1981. 南部町千里ヶ浜のアカウミガメの観察: 23 pp.
- ウミガメ研究班. 1992. ウミガメの観察(南部町千里の浜): 14 pp.
- 和歌山県ウミガメ情報交換会. 1989. 和歌山県におけるウミガメの上陸・産卵地. くろしお, 8: 48.
- 吉岡基・銭谷亮子. 1989. 日本沿岸における鯨類のストランディング. 採集と飼育, 51 (4): 164-167.